

夕刊 行發日九月八 新聞紙 第五千九百七十七號

隨筆 夏日小記(二) 島田忠夫

東京の盆に過ぎない。平の盆のやうに踊りなまし、人々、盆踊り場を説いて居るの出盛るまで定に興がなれるが、あれは全く養成で

杏の花咲く 遠藤 一 (上) ○葉ざくらの樹まきみどりによる雨をきくすめ

丘に立つて 佐久間 越夫 友の去つた夕暮の丘に立つて

講談 秘密小天狗 (95) 中川雨之氏作 近藤 誠氏書

「貴公、拙者の家へ来て、一しよに暮す氣は無いか」云はぬ、その代り、此の居



「は、正先生の厄事にならなうことであつた。なつても構はないといふの

和洋 建築 家具 製作販賣 片寄製作店

空冷式健康陶枕 笑はれる程よく眠れる、疲労倦怠を快復し精力記憶力を増進する實用新案の健康陶枕

久野電機 磁石用エンジン 振替東京一五二〇四番

安齊醫院 外科、内臓外科 院長 安齊 徹

水野化粧院 スピート時代に パーマネント オゾン美顔術

大幸舎 電話下谷六七七番 前野上東京 角通横局郵便谷下

阿康藥局 胃腸散 胃腸病、心臓病、腸、痔、瀉瀉

魚肝油 魚肝油 魚肝油

安齊醫院 外科、内臓外科 院長 安齊 徹

泉屋菓子店 見不知羊羹と 潮の華

西村藥局 國民精神總動員 日本國民、必見の書

天板板、ベニヤ板 銘木(床ノ間材) 確かに御期待に添ふ良品廉價の

井尻七三郎商店 銅鐵 機械

中古各種レール鐵管 礦山用機械器具類 製鐵原料問屋

天候も申し分無く お盆氣分全く本調子

明十五日に終る佛訓

昨日の盆遊へに似て今年も、この日の由來、十四日は戦色濃厚な折柄と云へ、流石盆氣分がどうやら本格化して来たやうである。立秋二日の夜は涼しく、お萩、他種其他の珍味も長く置けぬ處から食さざることを食事に制限無きで、随分と嫁に當る様な相見が現れ、珍らしく、盆盆と皮肉な氣も一層お盆らしい。而して諸事節約の行事も十五日は急よ「祖先の亡靈を供養し、お盆の苦を救ふ」と云はれて、本當の所謂盆盆に當る盆盆が一番跳ね上る時である。

緊張を忘れぬ程に 踊る産業勇士

炭礦街盆踊り風景

お盆、月明かりを浴び出に満ちてゐることだ。盆踊り、位情越つたつらな音頭は格より、踊り子は街地の踊り氣分は地を揺つて、夜更けも知らず、十四日と殆ど見られないであらう。十五夜の月光がさめる頃、盆踊り業に汗と涙のそとまで派手な踊り、揃ひしみを纏つて毎日の守護をの絆天に若き血のわがすの顔、山神祭と、殉職者のもの場合にのみ許された冥福を祈る盆踊りは、炭礦に、人生のスパークであつた。盆踊り、非常時下の緊張の双壁である。

力強い銃後風景

元費節約、貯蓄奨励 被服縫製作業進む

本市社会課が軍人遺族に銃後風景を見せ、對する授産事業の一つとして、被服縫製作業は、努力して日常生活費の節約に、増加し、エプロン姿も甲斐々々しく誠に力強い。

實地検証

平市警火葬場臨亡正木と

この父、この子

荷路夫に軍人の家

世にも壯烈な最期

友部伍長の戦死詳報

郷里の葬儀と前後して届いた

物見ヶ岡の記念寫眞

懐しく拜見しました

市内田町出身 大竹 庫君 氏

英靈に感慨新

供物辭退香奠は寄附

中野家時局意識を強調

三大庭野球堅陣

三伏の杜都に奮戦

今明仙鶴管内對抗試合

中陣を聴く

(210)

災害箇所漸次復舊

金庫運動が全国的に...

供物辭退香奠は寄附

中野家時局意識を強調

英靈に感慨新

今風の風雲に散つた戦病勇士の靈を...

物見ヶ岡の記念寫眞

懐しく拜見しました

力強い銃後風景

元費節約、貯蓄奨励 被服縫製作業進む

緊張を忘れぬ程に 踊る産業勇士

炭礦街盆踊り風景

天候も申し分無く お盆氣分全く本調子

明十五日に終る佛訓

中陣を聴く

(210)

開店披露

一、公債株式債券
現物賣買

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正 男

放送局相談所

ラヂオの故障は
修理は測定装置完備の弊店へ

富永ラヂオ店

平 藤 前 電話四九六番

今年心堂のアイスカクテル

是非一度御試食を...

開内藥局

電話四〇〇番

開店披露

一、公債株式債券
現物賣買

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正 男

放送局相談所

ラヂオの故障は
修理は測定装置完備の弊店へ

富永ラヂオ店

平 藤 前 電話四九六番

今年心堂のアイスカクテル

是非一度御試食を...

開内藥局

電話四〇〇番